



統計データ利活用表彰の 特別賞を受賞

総務省実施の「Data StaRt Award」

豊中市は、昨年度の取り組みである「市政データ利活用で企業立地促進施策の効果検証を可視化」で、総務省が実施する「Data StaRt Award～第8回地方公共団体における統計データ利活用表彰～」の特別賞を受賞しました。

同表彰は、地方公共団体における統計データの利活用の推進を目的として実施しています。今回は、全国の52団体から応募があり、総務大臣賞1団体、統計局長賞1団体、特別賞3団体が表彰を受けました。

「市政データ利活用で企業立地促進施策の効果検証を可視化」の概要

本市がこれまで取り組んできた企業立地促進施策が、税収や産業集約にどれほどの効果を与えたかについて、市政データとEBPM^{※1}用分析ツールや「Tableau」などのBIツール^{※2}を掛け合わせて可視化・分析することで、データに基づく同施策の効果を検証しました。その結果、4年間で固定資産税収が約2億円増加し、また、工業系用途地域での工場床面積78,387㎡、倉庫床面積12,679㎡の増加が確認され、施策による産業集約効果を示しました。

※1 EBPM…エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案

政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする。

※2 BI ツール…ビジネスインテリジェンスツール。企業等が持つさまざまなデータを分析・見える化して、経営や業務に役立てるソフトウェアのこと。

総務省ホームページの報道資料ページはこちら

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/index.html

総務省統計局ホームページの「Data StaRt Award～第8回地方公共団体における統計データ利活用表彰～」のページはこちら

<https://www.stat.go.jp/info/guide/rikatsuyou/index.html>

本市の企業立地促進制度の詳細はこちら

<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/sangyoushinkou/kigyoricchi/kigyoritchi.html>

【報道機関からの問い合わせ先】

都市活力部 産業振興課 担当：荒木、若林

TEL：06-6858-2782 E-mail:sangyoushinkou@city.toyonaka.osaka.jp